



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

関連施策のご案内と今後の研究会の進め方について

研究会設立の背景

- 「福島・国際研究都市（イノベーション・コースト）構想」（平成26年6月）でプロジェクトの一つとして提案された、リサイクル事業を柱とするスマート・エコパークについて、「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会（仮称）」の設立が提言された。

福島県ホームページ：

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/innovation.html>

- これを受け、福島県が、その組織や活動等の内容を検討し、昨年8月10日に本研究会を発足させた。 2

取組の方向性 (スマートエコパーク中間整理より)

「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会(仮称)」

ネットワーク化、検討深化

- 関連産業、団体等のネットワーク化
- 提案事業のフィージビリティ・スタディ
- 新事業創出に向けた検討(民間企業・団体等からの提案も含む)
- 資源のエネルギー利用の検討
- 規制緩和、制度改正の必要性検討
- 国等における必要予算の確保

等

※他の県の検討分科会(エネルギー、農林水産)とも連携

研究開発、技術実証、 企業立地支援、情報発信

- 先進的リサイクル技術や事業への研究開発、技術実証事業等の実施
- 企業立地への取組推進
- これらへの各種支援策の措置(立地補助金等の支援制度、産業振興センター、ハイテクプラザ等によるサポート)
- 産業フェア等を通じた県内外への情報発信

産業人材の育成

- リサイクル関連産業人材に向けた体制構築
- <連携機関>
- ✓ 自治体
 - ✓ 教育機関(大学・高等専門学校等)
 - ✓ 民間団体
- <対象者>
- ✓ 環境・リサイクル関連企業の経営者層
 - ✓ 環境・リサイクル関連企業の技術者(実践人材)
 - ✓ 環境・リサイクル関連企業の研究者

環境・リサイクル分野における新たな産業集積へ

研究会の目的

- 環境・リサイクル分野において、県内外で産学官によるネットワークを形成し、研究開発や人材育成等に取り組むことで会員の技術基盤の強化と持続可能なリサイクルのシステムの構築を図り、新たな事業を生み出す。
- 以上を通じて、2020年に向けて浜通り地域を中心に新たに環境・リサイクル産業の集積を進める。

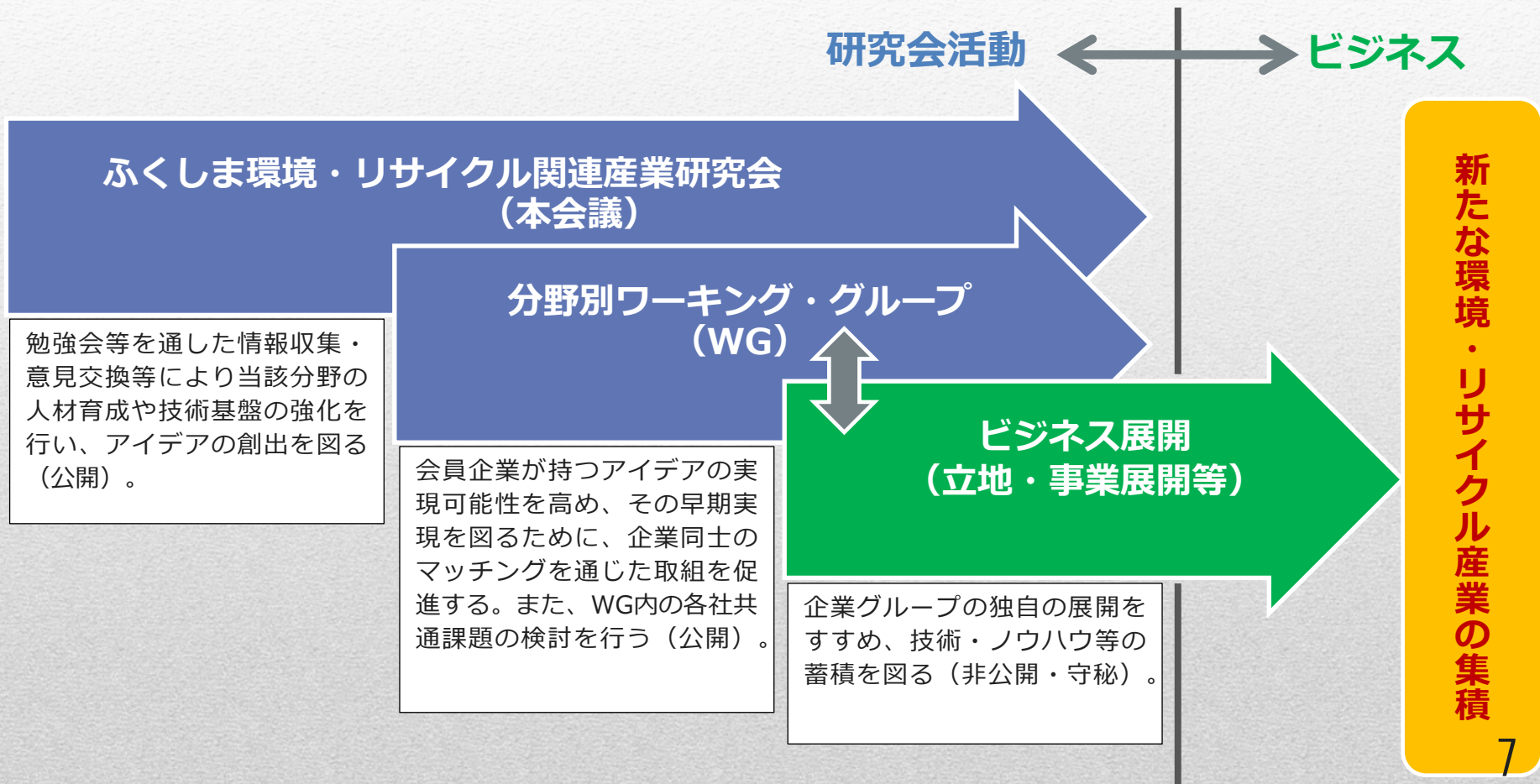
目標スケジュール

内 容	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度以降 (2020年度) ~
研究会の設置・運営	→					リ 浜 サ 通 イ リ ク 地 ル 域 産 を 業 中 の 心 集 に 積 環 境 ・
事業可能性調査の実施	→					
ワーキンググループの設置・運営		→				
各プロジェクトの実施		→ 研究開発・実証研究・事業化の推進				

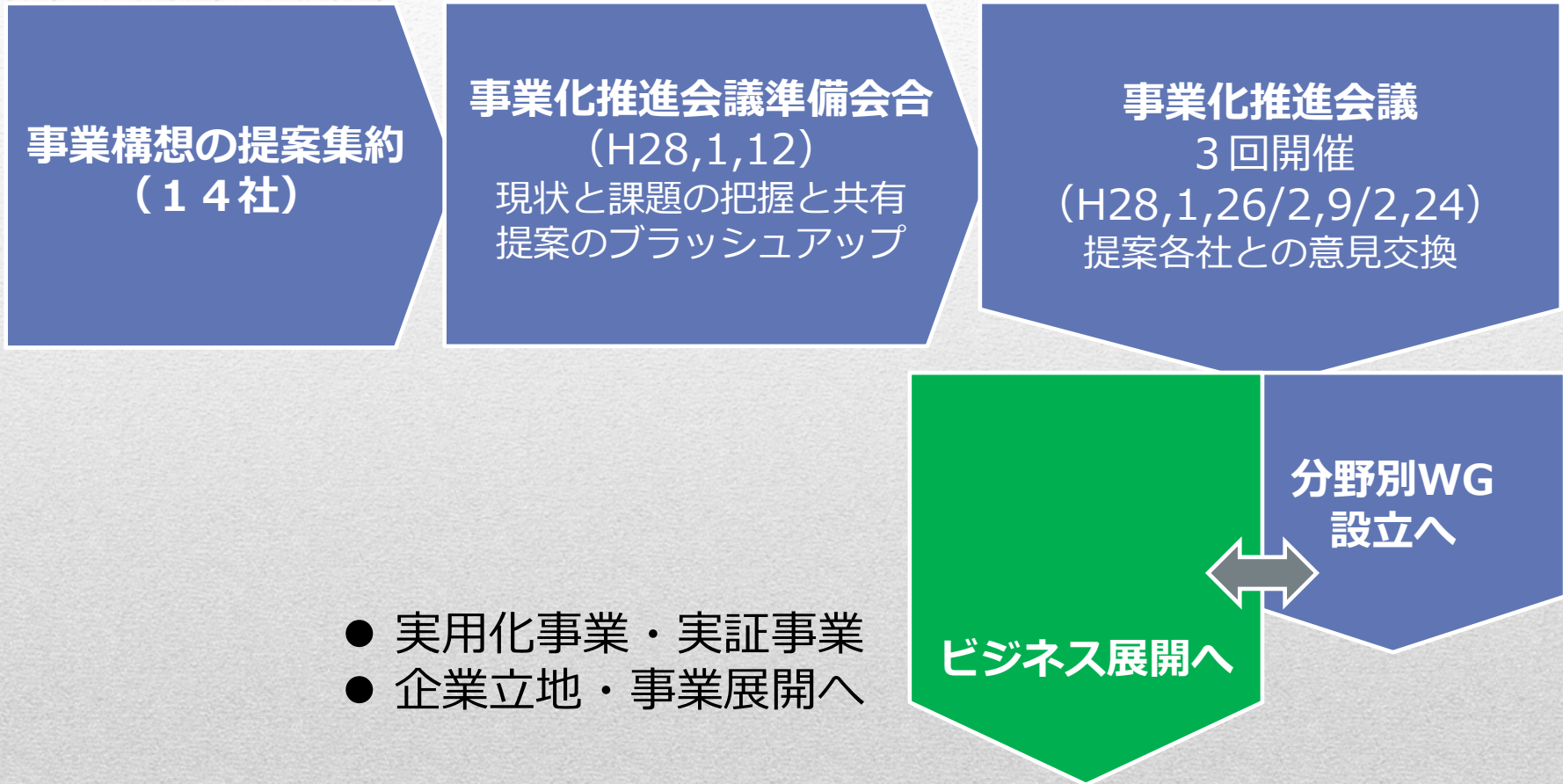
取組内容

- 研究会の運営の企画
- 事業可能性調査
- ワーキンググループ（WG）の設置・運営
- 各プロジェクトの実施（研究開発、実証、事業化の推進）

ワーキンググループのイメージ



これまでの経過



設置ワーキンググループ

①石炭灰リサイクル検討WG※

販路開拓・研究開発等を検討

②小型家電リサイクル検討WG※

福島県広域収集モデルを検討

③太陽光パネルリサイクル検討WG※

リサイクルシステムの在り方を検討

④廃棄物処理システム検討WG※

廃棄物処理システムの在り方を検討

※名称仮称 9

ワーキンググループ（WG）の運営方針

○ 10事業者未満で構成

積極的に事業に関わることが参画要件

○ 幹事社を設け、会員企業が主体的に運営

県が会場等の手配を行うなど事務局機能を支援

○ 早期の事業化

単なる勉強会ではなく早期の事業化を目指す

今後の取組

○研究会活動：セミナー・講演会等の実施

リサイクル事業の最新動向・トピックス等を共有する。

○事業可能性調査事業の実施：フォローアップ実施

現時点で具体化されていない事業構想や提案について掘り起こし、事業化に向けたフォローアップを行う。

○ワーキンググループ（WG）の設置

会員事業者等が実現したいと考えるリサイクル事業の構想を深掘りし、ネットワーク形成、ビジネス展開する。

研究要素があれば、地域復興実用化開発等促進事業等、補助事業への提案を行っていく。

福島イノベーション・コースト構想 実現可能性調査等補助事業【復興】

平成28年度予算案額 **1.0億円（新規）**

事業の内容

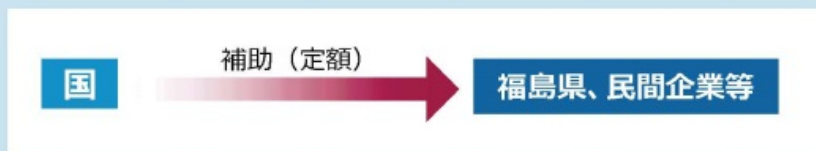
事業目的・概要

- 福島イノベーション・コースト構想については、イノベーション・コースト構想推進会議の議論の整理を踏まえ、今後、関係者が一丸となって、ロボットテストフィールド、国際産学連携拠点、スマートエコパーク、エネルギー関連産業プロジェクト、農林水産プロジェクト等のプロジェクトの事業化、拠点の整備を進めていきます。
- プロジェクトは様々な主体が実施していくことになりますが、本事業では、県や民間企業等においてこうしたプロジェクトの具体化を進めていくにあたり必要な調査等を実施します。

成果目標

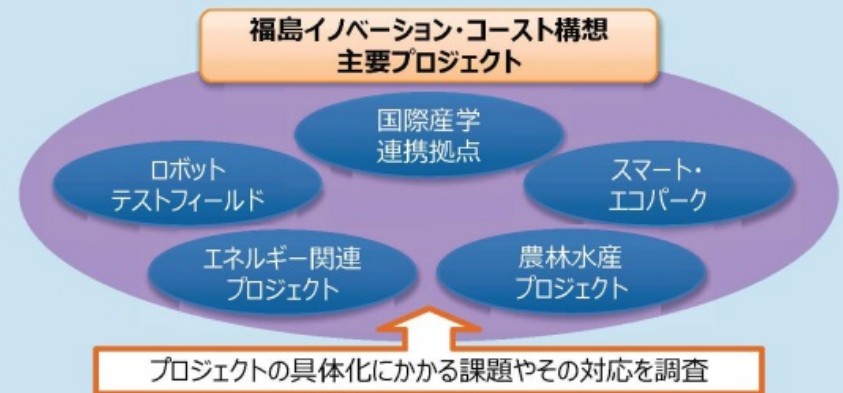
- 調査を通してプロジェクトの具体化にかかる課題やその対応を検討し、拠点の整備につなげます。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

- 県や民間企業等が主体となって検討するプロジェクトについて、実施体制、拠点の機能、他の機関との連携・機能分担等の課題やその対応を検討する実現可能性調査等に必要な費用を補助します。



拠点のイメージ例（国際産学連携拠点）





ふくしまから
はじめよう。

**今後とも、研究会の活動にご支援、
ご協力をお願いします。**